

令和2年度に行う主な施策と予算

公園・緑地整備事業 3,755万円	ときわ台地区擁壁改修工事を行うとともに、市街化区域周辺緑地の樹木調査・伐採計画を策定し、災害時における緑地周辺の安全確保を図ります。
西公民館改修事業 2,517万円	西公民館のエレベーター、空調設備、電気設備などの改修更新を行います。
診療所機能強化・整備事業 1,998万円	国保診療所の歯科用レントゲンなどを更新し、診療機能の強化・充実を図ります。
消防分団車両更新事業 1,373万円	消防団余野分団の小型ポンプ積載車を購入します。
女性活躍推進事業 676万円	様々なライフステージにある女性が自分本来の可能性を発揮できるよう、ワークシヨップなどによる人材育成や、豊能町の女性がより活躍するための自主提案事業に対する支援を行います。
ため池ハザードマップ作成事業 542万円	浸水想定区域などの周知徹底を図り、緊急時の迅速な避難行動を促すため、吉川山ノ神池のハザードマップを作成します。
地域による総合戦略推進事業 300万円	トヨノドリームによる地域提案事業の実現化に係る支援を行います。
防災行政無線遠隔操作機能追加事業 211万円	防災行政無線に、遠隔操作による防災行政無線子局の個別放送を行うことができる機能を追加し、防災体制の整備や地域防災力の向上を図ります。
地域新電力会社設立事業 180万円	能勢町及び地域の民間業者とともに新電力会社の設立に対して出資し、地域の活力の向上を図ります。
小中学校学力等調査事業 171万円	小中学校の児童生徒に対して、「学力・体力・学校生活調査」を実施し、児童生徒一人ひとりの成果と課題を把握し、今後の指導に活用します。
コンビニ収納導入事業 103万円	町税及び国民健康保険料において、コンビニエンスストアでの収納ができるよう環境整備を行います。
スクールカウンセラー活用事業 80万円	今までは中学校に対して行っていたスクールカウンセラーの派遣を、小学校にも拡充し、児童・保護者に対するカウンセリング事業の拡充を図ります。
福祉相談支援室設置事業 78万円	障害者（児）やその家族など、福祉全般に係る相談に対して、総合的かつ専門的な支援を図るため、吉川支所内に福祉相談支援室を設置し、日常生活や社会生活の支援を図ります。

当初予算の総額

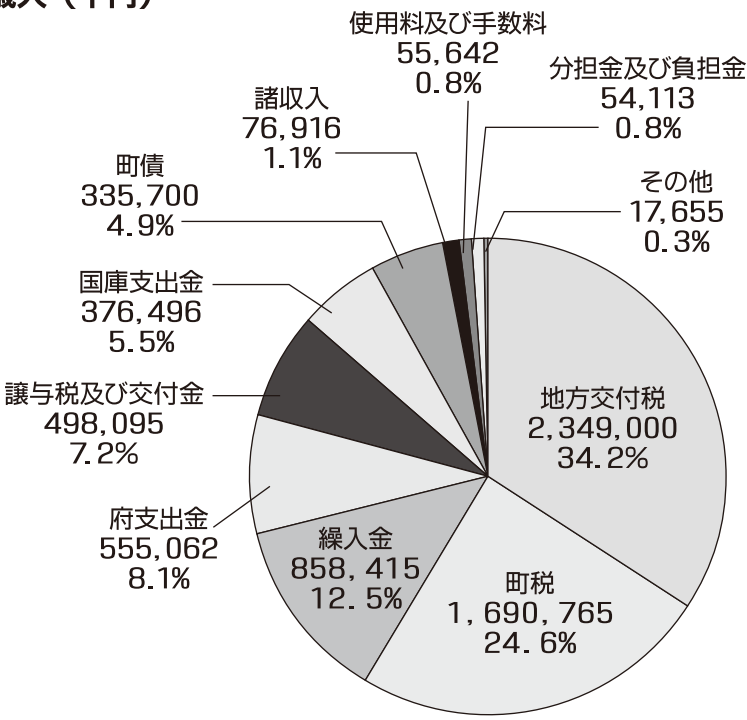
(単位：千円／％)

会 計 名		令和2年度(ア)	令和元年度(イ)	増減額 (ア)-(イ)=(ウ)	対前年比 (ウ)/(イ)％
一	般 会 計	6,867,859	6,632,000	235,859	3.6
特 別 会 計	国民健康保険事業勘定	2,969,963	3,044,686	△ 74,723	△ 2.5
	国民健康保険診療所施設勘定	104,559	65,273	39,286	60.2
	後期高齢者医療	565,316	510,512	54,804	10.7
	介護保険事業勘定	2,430,504	2,307,549	122,955	5.3
	下水道事業	499,710	461,471	38,239	8.3
	小 計	6,570,052	6,389,491	180,561	2.8
合	計	13,437,911	13,021,491	416,420	3.2

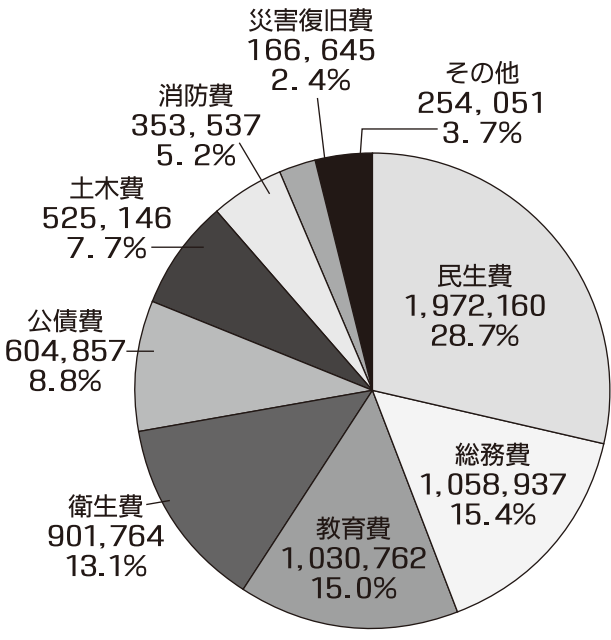
一般会計予算は、保幼小中一貫教育推進事業に関する部分を一部修正の上、可決されました。

令和2年度一般会計当初予算 68億6,785万9千円

歳入（千円）



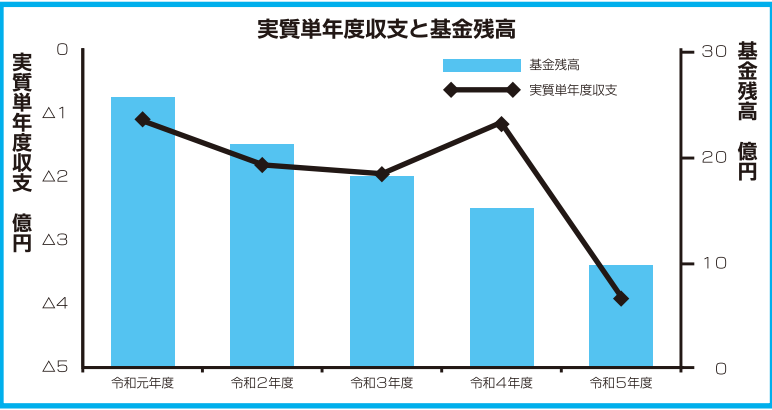
歳出（千円）



各グラフの値は合計を100%に合わせるため、四捨五入の値と異なる場合があります。

豊能町の財政推計（令和2年3月現在）

令和2年3月現在における豊能町の財政推計（令和元年度～5年度）を作成しました。下のグラフで、折れ線グラフ(数値は左軸)は実質単年度収支※1の額を、棒グラフ(数値は右軸)は基金残高※2を示しています。この推計は、「決算が赤字」にならないよう実質収支を ±0 にするため、基金を取り崩す想定で作成しています。結果として、実質単年度収支の額が常にマイナス（グラフでは△印）となっており、令和2年度以降の金額は、各年度において基金を取り崩す金額を示しています。（グラフ参照。例えば令和3年度は約2億円の取り崩しが必要）このように、本町における今後の財政運営は、基金の取り崩しに頼らざるを得ない状況です。持続可能なまちづくりのため行財政改革を図り、健全な財政運営を行っていく必要があります。



※1 実質単年度収支

前年度からの繰越金を除いた、当該年度だけの歳入・歳出を差し引きした額（単年度収支）から、基金の積立や取崩しなど、実質的な黒字・赤字要素を控除した額です。

※2 基金残高

基金とは、町の貯金にあたるものです。グラフの基金残高は、一般会計における現金ベースによる金額です。

問＝行財政課 ☎739-3414

豊能町総合まちづくり計画 住民意識調査結果について

豊能町では現在、令和4年度から令和13年度までのまちづくりの基本的指針となる豊能町総合まちづくり計画を策定しています。

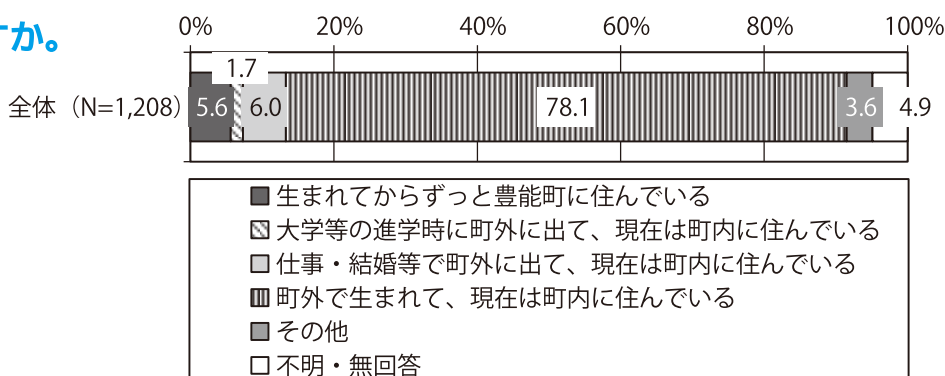
そこで、まちづくりの現状や課題、将来像などについて、地域の方々の意向を把握し、計画づくりの基礎資料として役立てるため、次の内容でアンケート調査を実施しました。調査へのご協力をいただいたみなさま、ありがとうございました。

今回は、調査結果を抜粋してお知らせいたします。詳細なアンケート結果は、町ホームページのほか、役場1F情報公開コーナー・まちづくり創造課、中央公民館図書室、吉川支所、図書館で公開する予定です。

実施方法・実施期間など	
調査方法	郵送による配布・回収
調査対象者	18歳以上の住民 2,000人
調査期間	令和元年11月28日～ 令和元年12月12日
回収結果 (回収率)	1,208件 (60.4%)

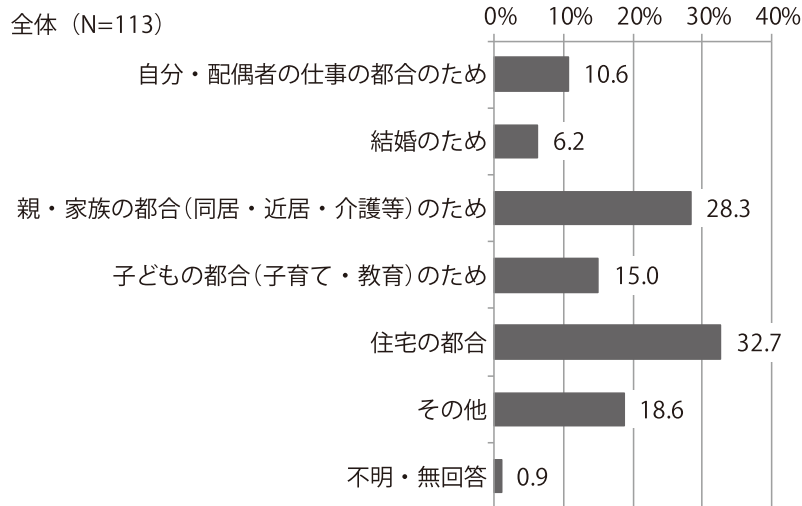
問 あなたの居住歴はどれですか。 (単数回答)

「町外で生まれて、現在は町内に住んでいる」と答えた人が78.1%と最も多くなっています。約8割が、豊能町に転入してきた方たちであることがわかります。



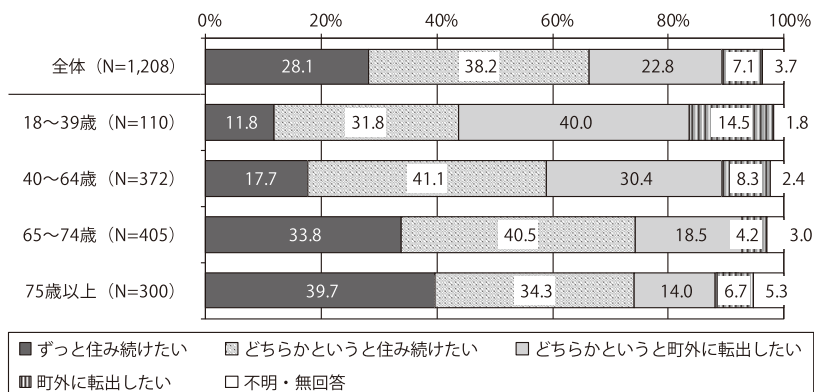
問 (転入してきて10年未満の方) 転入した理由は何ですか。 (複数回答)

「住宅の都合」と答えた人が32.7%（具体的には、「一戸建てを購入するため」「親の土地・家に住むため」など）と最も多く、次いで「親・家族の都合（同居・近居・介護等）のため」と答えた人が28.3%となっています。「その他」と答えた人は、「自然環境の良いところに住みたかったから」「趣味が楽しめるから」「大阪市内に通勤できるから」などと回答しています。



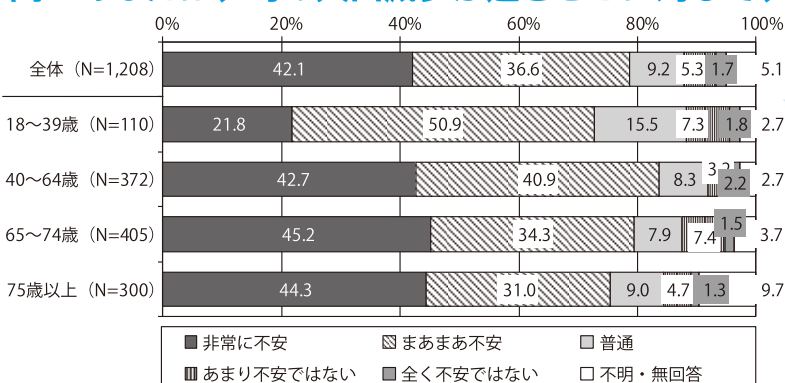
問 あなたは将来も豊能町に住み続けたいと思いますか。 (単数回答)

豊能町に住み続けたいと思うかについては、「どちらかというに住み続けたい」が38.2%と最も高く、次いで「ずっと住み続けたい」が28.1%、「どちらかという町外に転出したい」が22.8%となっています。年齢が若い層ほど、転出したいと考える割合が高くなっています。



今の豊能町について、みなさんがどのように感じているか、回答者の年齢別にみてみましょう！

問 あなたは、町の人口減少が進むことに対して、将来への不安はありますか。（単数回答）



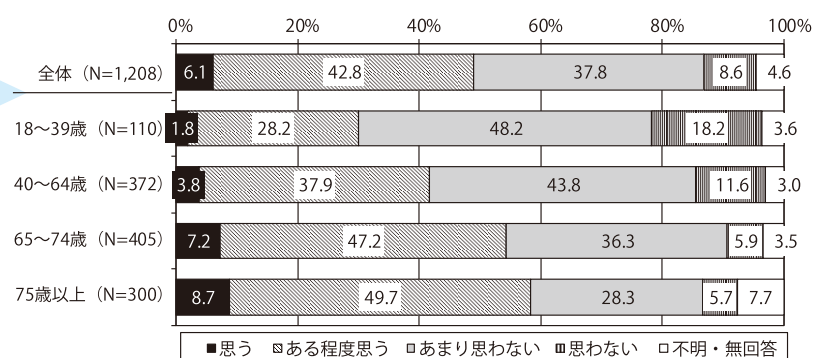
「非常に不安」や「まあまあ不安」と答えた方の割合は約8割で、特に40～64歳で高くなっています。

不安を感じると答えた人は、その内容について、「医療・福祉サービスが行き届かなくなるという不安」「公共交通が不便になるということへの不安」といった回答が多くなっています。

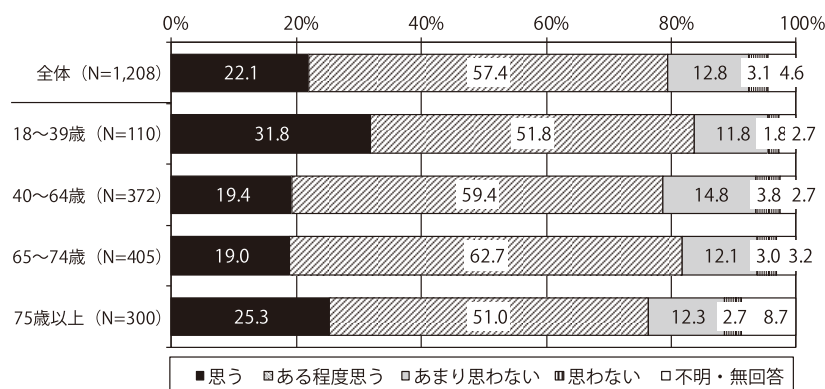
問 豊能町の行政サービス等に関する情報は、よく伝わっていると思いますか。（単数回答）

18～39歳では「あまり思わない」「思わない」と答えた方の割合が高く、年齢が上がるにつれ、「思う」「ある程度思う」と答えた方の割合が高くなっています。

情報の主な入手先としては、いずれの年代も「広報紙などの町の配布物」との回答が最も多くなっています。18～39歳では、「家族・親戚」という回答も多くなっています。



問 豊能町は自然環境にやさしいまちだと思いますか。（単数回答）

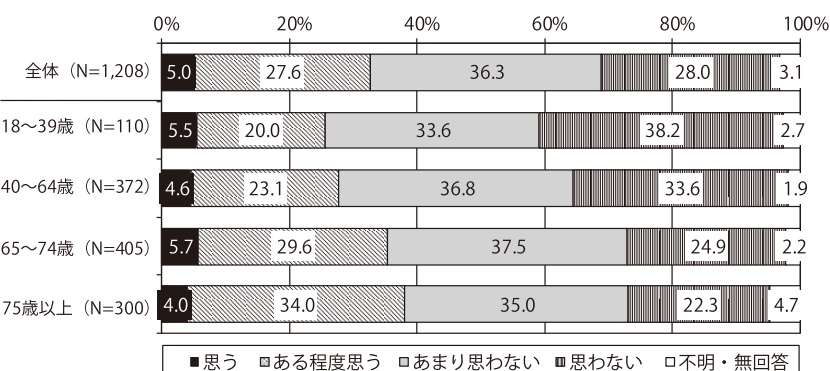


18～39歳では「思う」と答えた方の割合が他の年代と比較して高くなっています。

水と緑の環境保全について「重要」と答えた方の割合も、18～39歳が最も高くなっています。

問 お住まいの地域のバスや鉄道等の公共交通機関は充実していると思いますか。（単数回答）

「思わない」と回答した方の割合が最も高いのは18～39歳となっています。18～39歳のうち、地域の路線バスに「ほとんど乗らない」と回答している人が55.5%となっています。



町では、学識経験者や地域の方々と構成する「総合まちづくり計画審議会」において、アンケート調査結果や様々な統計データなどを用いて現状や将来の課題、豊能町の強みや弱みを整理し、今後のまちづくりの基本的な指針を検討します。策定の状況等は、町ホームページや広報でお知らせする予定です。

問＝まちづくり創造課 ☎739-3412